

令和 7 年度	年間指導計画	1 学年【 理科 】		
---------	--------	------------	--	--

月	単元・題材 指導目標 （ ）は時数	観 点	評 価 材 料
4 月 5 月 6 月	単元 1 いろいろな生物とその共通点 （2 4） 第 1 章 生物の観察と分類のしかた（8） 1. 身近な生物の観察 2. 生物の特徴と分類 生物の観察を通して、生物を観察するとき、どのような特徴に注目して、どのような方法で観察すればよいのかについて考え、身に付ける。また、その特徴から生物の共通性や相違性に着目し、生物の分類のしかたについて考える。 第 2 章 植物の分類（8） 1. 身近な植物の分類 2. 果実をつくる花のつくり 3. 裸子植物と被子植物 4. 花をさかせず種子をつくらない植物 5. さまざまな植物の分類 植物の観察を通して種子植物や種子をつくらない植物についてその特徴を見だし、共通性や相違点に着目し、植物を分類するときに注目する特徴を図や表を用いてまとめる。 第 3 章 動物の分類（8） 実験や観察を通して、動物の共通点や相違点を見だし、その特徴に基づいて植物を複数のグループに分類することができるようになる。 動物の観察を通して種子植物や種子をつくらない植物についてその特徴を見だし、共通性や相違点に着目し、動物を分類するときに注目する特徴を図や表を用いてまとめる。	観点 1 知識・技能 いろいろな生物の共通点と 相違点に着目しながら、生物の観察と分類の仕方、生物の体の共通点と相違点を 理解しているとともに、それらの観察，実験などに関 する技能を身に付けている。	☐ ペーパーテスト ☐ 実験プリント（結果） ☐ 授業プリント
		観点 2 思考・判断・表現 身近な生物についての観察，実験などを通して，いろいろな生物の共通点や相違点を見 いだすとともに，生物を分類 するための観点や基準を見い出して表現している。	☐ ペーパーテスト ☐ 実験プリント（考察） ☐ 授業プリント ☐ 授業内での様子
		観点 3 主体的に学習に取り組む態度 身近な生物についての観察，実験などを通して，いろいろな生物の共通点や相違点を見 いだすとともに，生物を分類 するための観点や基準を見い出して表現している。	☐ PDCA シート ☐ 授業振り返り ☐ 授業や話し合いの取り組み
7 月 9 月 10 月	単元 2 身のまわりの物質とその性質 （3 5） 第 1 章 身のまわりの物質とその性質（1 1） 1. 物の調べ方 2. 金属と非金属 3. 様々な金属の見分け方 4. 白い粉末の見分け方 実験や観察を通して，金属と非金属，見た目ではわからない白い粉などの身の回りの物体を構成する物質が何かを知るための方法を考えるとともに，その方法を身に付ける。 第 2 章 気体の性質（3） 1. 身のまわりの気体の性質 2. 気体の性質と集め方 身のまわりの気体にはどのような性質があるかを調べるとともに，気体の発生方法を理解し，気体の性質をもとに気体の捕集方法について考える。 第 3 章 水溶液の性質（1 0） 1. 物質が水にとけるようす 2. 溶解度と再結晶 実験や観察の結果をもとに，物質が水に溶けるとはどのようなことになることを考えるとともに，水に溶けている物質をとり出すため，水を蒸発させる以外にどのような方法があるかを考える。 第 4 章 物質の姿と状態変化（1 1） 1. 物質の状態変化 2. 物質の状態変化と体積・質量の変化 3. 状態変化が起こるときの温度と蒸留 身のまわりの物質の状態変化について考えるとともに，実験や観察の結果をもとに，状態変化するときの体積・質量の変化や液体どうしの混合物を分離する方法について考える。	観点 1 知識・技能 身のまわりに存在する物質の調べ方やその性質、特徴について理解しているとともに、それらの観察，実験などに関する技能を身に付けている。	☐ ペーパーテスト ☐ 実験プリント（結果） ☐ 授業プリント
		観点 2 思考・判断・表現 身のまわりに存在する物質についての観察，実験などを通して，身のまわりの物質の共通点や相違点を見 いだすとともに，物質を分類するための観点や基準，状態変化によるさまざまな変化について見い出して表現している。	☐ ペーパーテスト ☐ 実験プリント（考察） ☐ 授業プリント ☐ 授業内での様子
		観点 3 主体的に学習に取り組む態度 身のまわりに存在する物質に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったり 振り返ったりするなど，科学的 に探究しようとしている。	☐ PDCA シート ☐ 授業振り返り ☐ 授業や話し合いの取り組み
10 月 11 月 12 月	単元 3 身のまわりの現象 （2 1） 第 1 章 光の世界（1 0） 1. 物の見え方 2. 光の反射 3. 光の屈折 4. レンズのはたらき 実験や観察の結果をもとに，物体を見ることができるときに光が目にとどのように届いているかや，反射や屈折の際の光の進み方，凸レンズによってできる像の規則性などについて考える。 第 2 章 音の世界（3） 1. 音の伝わり方 2. 音の性質 実験や観察を通して，音がはなれているところに伝わるしくみや音の大きさや高さや音源の振動との関係性について考える。	観点 1 知識・技能 光と音に関する事物・現象を日 常生活や社会と関連付けながら，光の反射や屈折，凸レンズ の働き，音の性質についての基 本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身 に付けている。	☐ ペーパーテスト ☐ 実験プリント（結果） ☐ 授業プリント
		観点 2 思考・判断・表現 光と音について，問題を見だし見通しをもって観察，実験などを行い，光の反射や屈折，凸レンズの働き，音の性質の規則 性や関係性を見い出して表現している。	☐ ペーパーテスト ☐ 実験プリント（考察） ☐ 授業プリント ☐ 授業内での様子
		観点 3 主体的に学習に取り組む態度 	☐ PDCA シート

	実験や観察を通して、音の性質や特徴，その規則性について理解する。 第3章 力の世界（8） - 日常生活の中の力 - 力のはかり方 - 力の表し方 - 力のつり合い 力のはたらきについて考えるとともに，実験や観察の結果をもとにばねを引く力とばねののびの関係や力の表し方，力がつり合う条件などについて考える。	光と音に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったり 振り返ったりするなど，科学的 に探究しようとしている。	□授業振り返り □授業や話し合いの取り組み
1月 2月 3月	単元4 大地の変化 （28） 第1章 火をふく大地（10） - 火山の姿からわかること - 火山がうみ出すもの - 火山の活動と火成岩 - 火山とともにくらす 実験や観察を通して，マグマの性質と火山の関係や火山灰がどのようなものでできているか，火成岩の色やつくりのちがいがなぜ生じるかなどについて考える。 第2章 動き続ける大地（9） - 地震のゆれの伝わり方 - 地震が起こるところ - 地震に備えるために 実験や観察を通して，震源で発生したゆれがどのように伝わるか，地震はどのような場所でどのように発生するか，地震によって起こる被害を最小限におさえるためにはどのようなことが必要になるかについて考える。 第3章 地層から読みとる大地の変化（8） - 地層のつくりとはたらき - 堆積岩 - 地層や化石からわかること - 大地の変動 - 身近な大地の歴史 実験や観察を通して，地層ができるしくみや堆積岩の特徴，地層や化石からわかる情報や海底でできた地層が山頂で見られる理由などについて考える。	観点1 知識・技能 火山や地震、地層に関する事物・現象を日常生活や社会と関連付けながら，火山、地震、地層についての基本的な概念や原理・法則などを 理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察， 実験などに関する基本操作や 記録などの基本的な技能を身に付けている。 観点2 思考・判断・表現 火山や地震、地層に関する問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，それぞれの関係性を見い出して表現しているなど，科学的に探究している。 観点3 主体的に学習に取り組む態度 火山や地震、地層に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったり 振り返ったりするなど，科学的 に探究しようとしている。	□ペーパーテスト □実験プリント（結果） □授業プリント □ペーパーテスト □実験プリント（考察） □授業プリント □授業内での様子 □PDCA シート □授業振り返り □授業や話し合いの取り組み